

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (甲信越)	◎	観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・今年は7月中旬から猛暑が続いたことと、円安により海外旅行を控えたためか、8月は平日でも連日混雑している。
	◎	都市型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・3か月前と比べて、8月の客室単価は130%となっている。特に、8月2日、3日の花火大会や祭り、週末等の市内イベント等があったため、客室単価が上がっている。花火大会の2日間は、通常の1週間分の売上を2日間で達成している。
	◎	その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	お客様の様子	・今月は1軒丸々遺品整理、2トントラック10台分の依頼が入っている。葬儀の依頼も多く、墓じまいの依頼もある。
	○	百貨店（経理担当）	お客様の様子	・4月に開店したターミナル駅の再開発商業施設に流れていた客足が、食品や化粧品等で少しずつ戻っている。
	○	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・買上点数が増えている。行楽需要も増加しており観光客が多い。
	○	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・今年の夏は猛暑日が多く、飲料や冷たい麺類等の売行きは好調である。繁忙期でもあり、売上は上がっている。
	○	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新車受注は、前年と比べて増加傾向が続いている。
	○	自動車備品販売店（従業員）	来客数の動き	・お盆の長期休暇もあったためか、来客数が増えている。タイヤ、バッテリー等のメンテナンス用品を中心に、購入が増えている。
	○	その他専門店〔酒〕（店長）	販売量の動き	・今月の売上は非常に良かったが、3か月前と比べるとやや良いという回答になる。新型コロナウイルス感染症の5類移行後だった前年の夏休みは、県外や海、遠くに出掛けた人がかなり多かったが、今年は南海トラフ地震を懸念して遠くには行かなかったり、海ではなく山の方に来たということで、前年とは大分違ったお盆になった。そのため、3か月前には予想できなかったが、8月中は後半にかけても非常に売上が良い。
	○	タクシー運転手	販売量の動き	・今月も前年比105～106%くらいで着地するのではないかと。安定はしないが、やや落ち着いている。
	○	観光名所（職員）	来客数の動き	・夏休みの始まりと同時に、国内の個人客やファミリー層が増えて、久しぶりに多忙を極めている。
	○	遊園地（職員）	来客数の動き	・リニューアルオープンしたアトラクションが複数あったことや、夏休みを迎えた学生客等が来園したため、やや良くなっている。
	□	商店街（代表者）	お客様の様子	・当店は学校販売がメインで、特に新入生向けの指定販売で体育衣料を扱っている。4月からの店の小売はそれほど変わらないが、学校販売は予想したほど悪くなく、例年と余り変わらないので安心している。
	□	商店街（代表者）	お客様の様子	・8月のトップシーズンで前年以上の人出はあったものの、お金の使い方がシビアである。
	□	一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・猛暑関連でエアコンの動きは、例年と比べて増えている。必要に迫られての出費であるものの、お金を持っていないわけではない。現状、先行きの不透明さから出費を控えているように見受けられる。この状況は続きそうである。
	□	スーパー（経営者）	来客数の動き	・各地の祭りやお盆で帰省客が多く、来客数、単価は上昇している。米が品薄な状況で、当店は比較的確保できたこともプラスとなっている。
	□	スーパー（経営者）	お客様の様子	・前年比では売上は11%減少、来客数は8%減少となっている。当地区では今年の盆踊りが中止となり、その点は売上減少の原因ではあるが、その他の2地区から注文が入ったためにそれなりに忙しい。
□	スーパー（店長）	お客様の様子	・買上点数は前年を超えるが、割引セールを来店動機にしている客が多く、価格面に関してはシビアである。	

	□	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・比較的天候に左右されやすい商売で、今月は好天が続かず雨天だったりしたが、売上のみにみれば前年と余り変わらない。
	□	コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・客単価が前年比横ばいになっている。
	□	家電量販店（店長）	来客数の動き	・前年は連日猛暑で夏物商材の動きが好調だったが、今年は何れ年並みの推移である。
	□	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・車検、一般整備は目標をクリアしているが、部品の高騰等により、中には工賃を下げる場面も出てきている。車両販売に関しては、買う、買わないではなく、買う、買えないという格差がみられる。
	□	一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・注文時にプラスアルファの物が無い。
	□	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・異常気象の影響が少なからずある。
	□	スナック（経営者）	お客様の様子	・変わらないを選択したが、これ以上悪くならないようにという意味の変わらないである。地方は大変である。いろいろと要因はあるが、客の小遣い自体がないようである。
	□	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・お盆期間が長かったことで個人客の動きが例年よりも活況だったが、逆に法人や団体利用が少なからず減少したことで、結果としてはさほど大きな変化はなく推移している。当県での世界文化遺産登録によるプラス効果の期待はあったが、まだ余りみられない。
	□	旅行代理店（副支店長）	来客数の動き	・旅行需要は相変わらず上向き傾向で、秋の受注や相談も好調といえる。物価上昇や為替変動等のマイナス要因はあるものの、夏休み等の時期でもあり、好調である。
	□	通信会社（社員）	販売量の動き	・サービス拡張エリアでの新規契約は増えているが、工事の遅れが響いて、肝心の売上増加にはつながっていない。
	□	ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・株取引で損をしている客が増えている。
	□	ゴルフ場（副支配人）	来客数の動き	・旅行等、他のレジャーの動きに制限がなくなったことや暑すぎて外出を控えているためなのか、平日だけでなく土日の来場者数の減少が大きくなっている。
	□	その他レジャー施設 [ボウリング場]（経営者）	来客数の動き	・一般客については、新型コロナウイルス感染症発生前の水準を超えてきている。団体利用に関してはそこまでではないものの、7～8割程度には回復している。
	□	住宅販売会社（経営者）	来客数の動き	・猛暑の影響で別荘への来訪数が増加している。
	▲	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・暑さにより出掛ける意欲がなくなっている。
	▲	コンビニ（店長）	販売量の動き	・猛暑とゲリラ豪雨のような極端に雨が降るタイミングがあったので、売上は不安定な天候に引っ張られて、余り良くない。
	▲	スナック（経営者）	来客数の動き	・宴会の動きが余り良くなく、フリー客も少ない。パリオリンピックの影響かもしれない。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・猛暑までが売上の足を引っ張る役回りをしていて。連日、熱中症注意情報が出て、不要な外出を控えようというコメントが流れるなかでの外出は覚悟があるはずで、人出は相変わらずゼロに近い。
	×	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・物価高と猛暑のため、全くの想定外というほど人通りがない。
企業動向関連	◎	*	*	*
(甲信越)	○	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・若干ではあるものの、受注数が増え、見積りから受注につながる数も増えている。
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子	・店頭販売品の受注動向は多少上向きである。
	□	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注は順調にあるものの、現状、人手不足が続いている。また、暑さ対策が重要であるため、作業者の体調管理に気を使っている。

	□	金融業（調査担当）	取引先の様子	・製造業は、I T 関連の在庫調整が解消に向かっているものの、緩やかな状況である。非製造業は節約志向を背景に消費の力強さがみられず、足踏み状況が続いている。
	□	金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・観光事業は夏の繁忙シーズンで上昇しているが、製造関係については余り変動がみられない。
	□	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・折込チラシ出稿は減少傾向が続いていたが、新規出店等による出稿依頼が増加している。しかし、既存店は出稿枚数の減少や出稿サイズの縮小により単価の低下等が続いており、落ち込み分を新規出店分でカバーする形となっていて、売上は前年とほぼ同水準である。
	▲	食料品製造業（営業統括）	受注量や販売量の動き	・7月の後半から8月にかけて35度以上の猛暑日が36日と、観測史上最多となり、ワインの出荷は暑さの影響で著しく低下している。
	×	食料品製造業（製造担当）	それ以外	・原材料を含めて価格上昇がまだ落ち着かず、今の単価ではとても吸収できていない。
	×	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・旧盆を挟んで長い休みが月中に入ったことで、稼働効率が悪い。暑さや急な雷雨等があり、催事の来場者も少なく、売上は低迷している。
雇用 関連  (甲信越)	◎	—	—	—
	○	—	—	—
	□	人材派遣会社（営業担当）	雇用形態の様子	・雇用条件がハローワーク等の記載と違い、条件相違で再度相談に来る方が増えている。正社員という言葉は聞こえが良く、就職を決めてしまうが、なかなか難しい様子である。本人も含めマッチングを丁寧に行うことが望ましい。
	□	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・半導体需要の高まり等で、関連する製造業は受注が増加している。観光や飲食、交通輸送業等では引き続き好調な様子だが、原材料価格やエネルギー価格の上昇、物価高や人手不足による人件費増大の影響を勘案すると、総体的に景気が上向いているとは捉えにくく、むしろ停滞感が強い。
	▲	*	*	*
	×	—	—	—